

# データで見る 秋田の暮らし

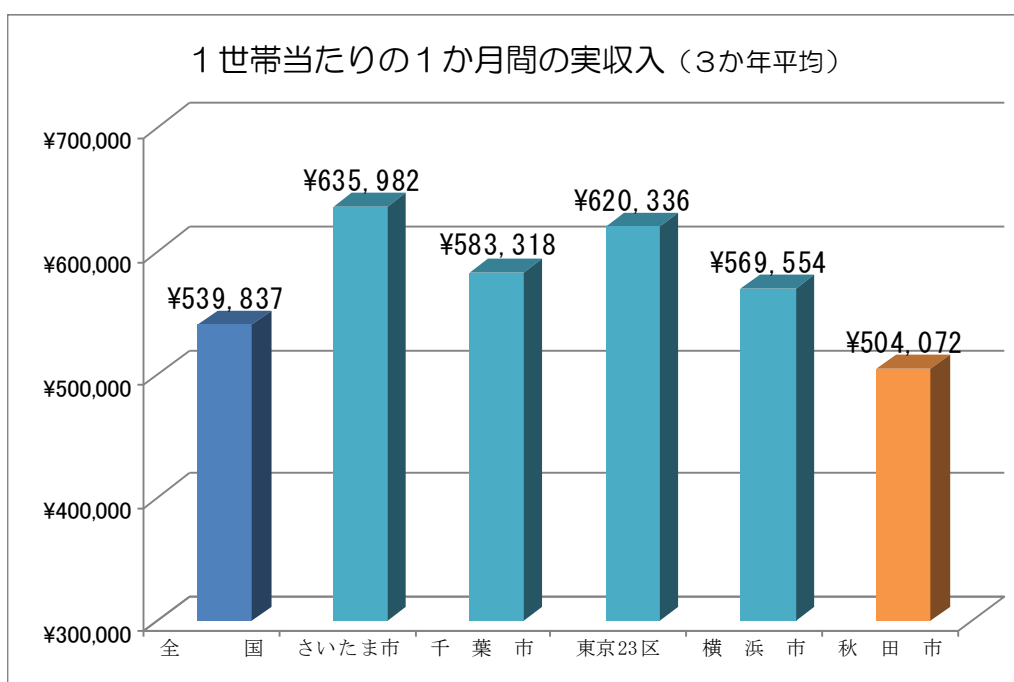
秋 田 県  
令和2年1月

東京のような大都市の暮らしと秋田の暮らし、両者にはそれぞれ特徴があります。  
各種統計調査の結果等から、生活費や暮らしの特徴・違いについて秋田県や県庁所在地の秋田市をモデルにまとめましたので、ライフプランを考える際の参考としてください。

## 1 収入と支出

### ①実収入（2人以上の世帯のうち勤労者世帯）

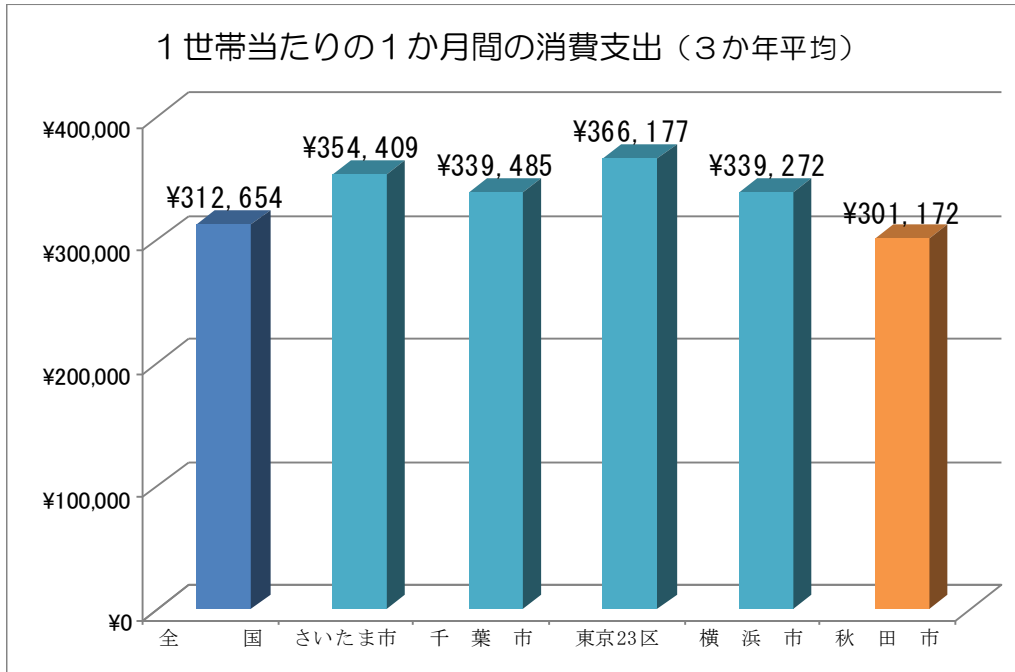
実収入は、いわゆる税込み収入で、世帯員全員の現金収入を合計したものです。  
地域の産業規模の違い等により「秋田市<首都圏」となり、差が生じています。



出典：平成28年・平成29年・平成30年の「家計調査結果」（総務省統計局）から秋田県が作成

## ②消費支出（2人以上の世帯のうち勤労者世帯）

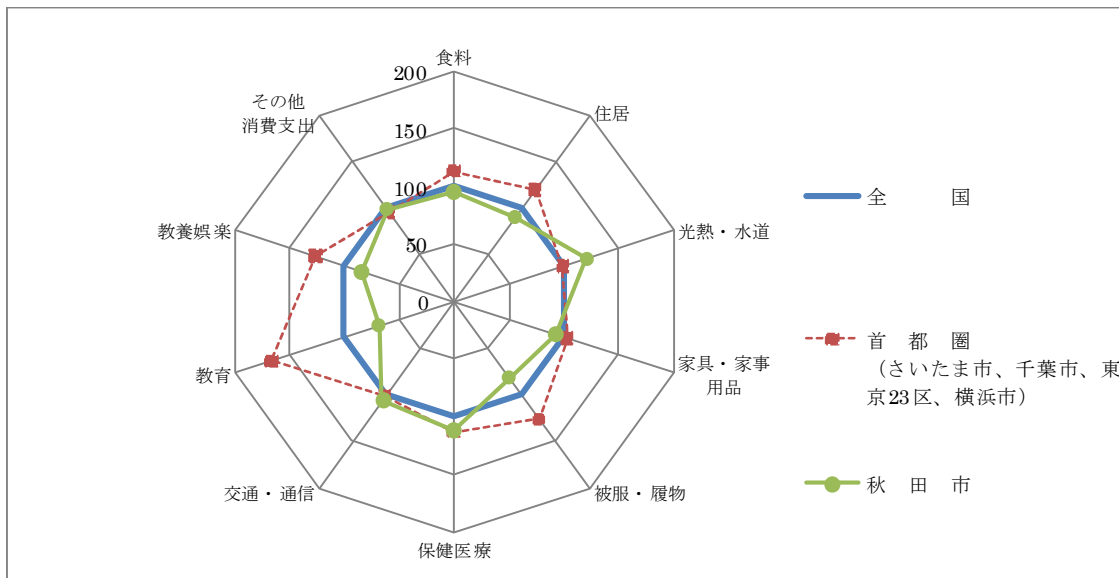
消費支出はいわゆる生活費のことで、日常生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額です。物価水準の違い等から、首都圏や全国平均よりも少なくなっています。



出典：平成28年・平成29年・平成30年の「家計調査結果」（総務省統計局）から秋田県が作成



## 消費支出の項目別比較（全国平均値を100とした場合）



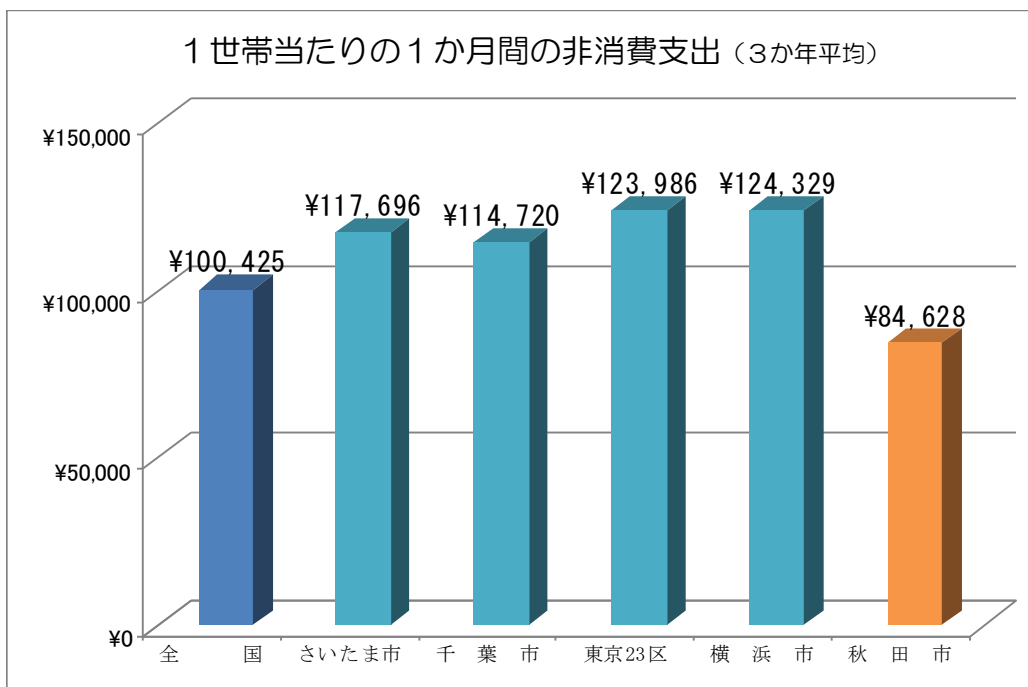
出典：平成28年・平成29年・平成30年の「家計調査結果」（総務省統計局）から秋田県が作成

秋田市は、「食料」、「住居」など7項目で首都圏より少なくなっていますが、一方で「光熱・水道」は、冬期間の灯油代などの影響で多くなっています。

また、首都圏や全国と比較して「教育」への支出が少ないですが、『平成31年度全国学力・学習状況調査』では、秋田県の平均正答率は全国公立学校の平均値を上回り、特に国語と数学は全国トップクラスとなっています。（詳細は9ページへ）

### ③非消費支出（２人以上の世帯のうち勤労者世帯）

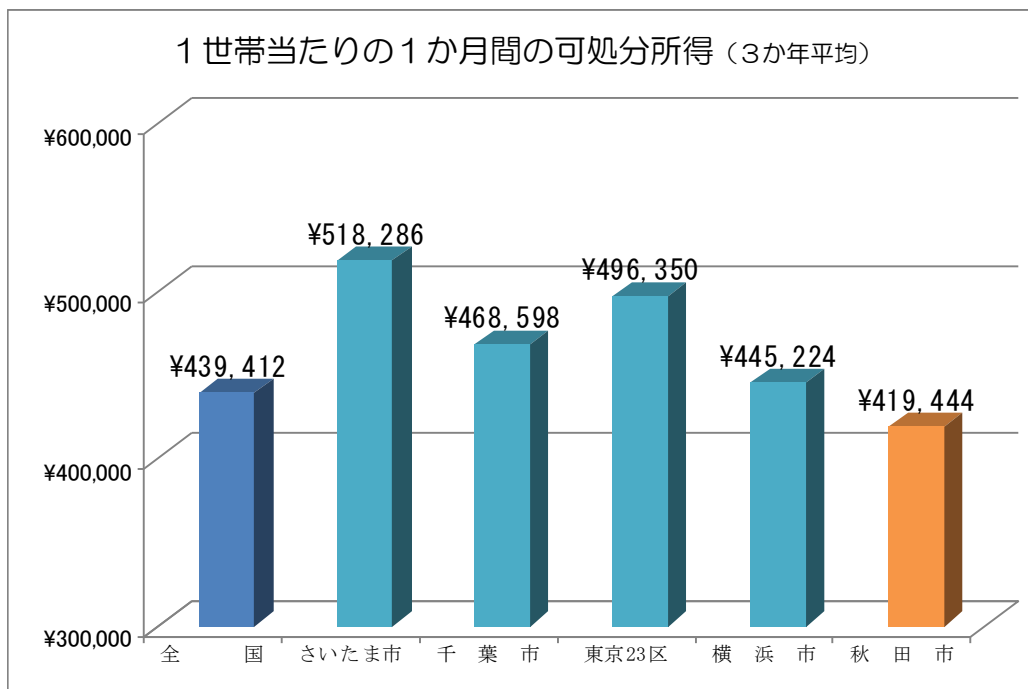
非消費支出は各種税金や社会保険料等、世帯の自由にならない支出になります。所得の違い等から秋田市は少なくなっています。



出典：平成28年・平成29年・平成30年の「家計調査結果」（総務省統計局）から秋田県が作成

### ④可処分所得（２人以上の世帯のうち勤労者世帯）

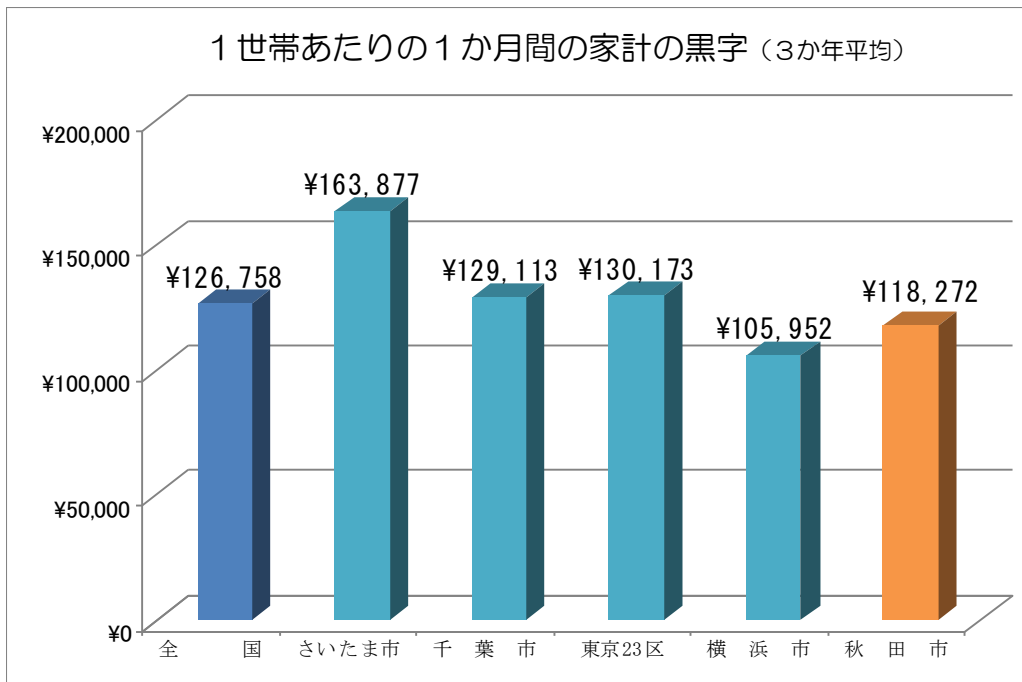
可処分所得は、実収入から税金や社会保険料等の非消費支出を差し引いた残りの金額、いわゆる手取収入になります。



出典：平成28年・平成29年・平成30年の「家計調査結果」（総務省統計局）から秋田県が作成

### ⑤家計の黒字（2人以上の世帯のうち勤労者世帯）

家計の黒字は、可処分所得から消費支出を差し引いた金額になります。地域差はありますが、必ずしも首都圏の方が大きいとは限らないことが分かります。



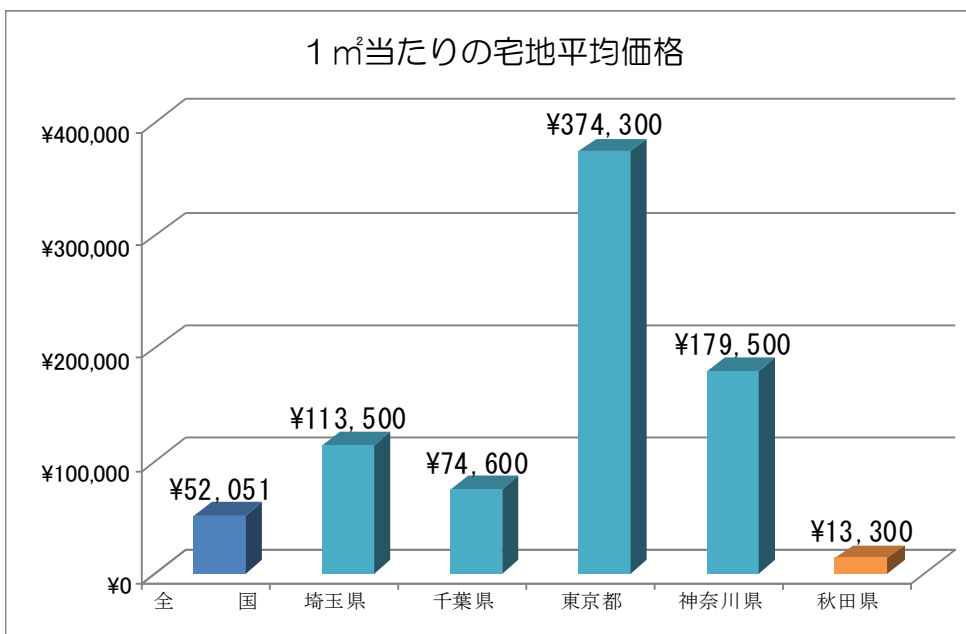
出典：平成28年・平成29年・平成30年の「家計調査結果」（総務省統計局）から秋田県が作成

ここからは住まいや生活環境等の特徴をご紹介します。

## 2 住環境

### ①宅地平均価格

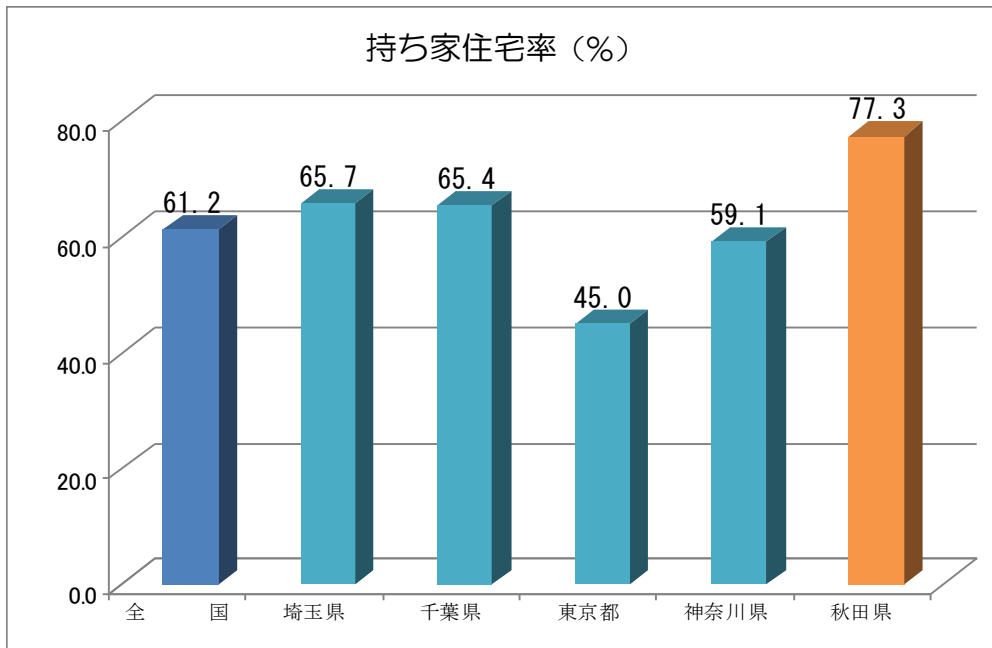
本県の住宅地の平均価格は全国で1番低く、全国平均の3割以下となっています。



出典：「令和元年度都道府県地価調査」（国土交通省）から秋田県が作成

## ②持ち家住宅率

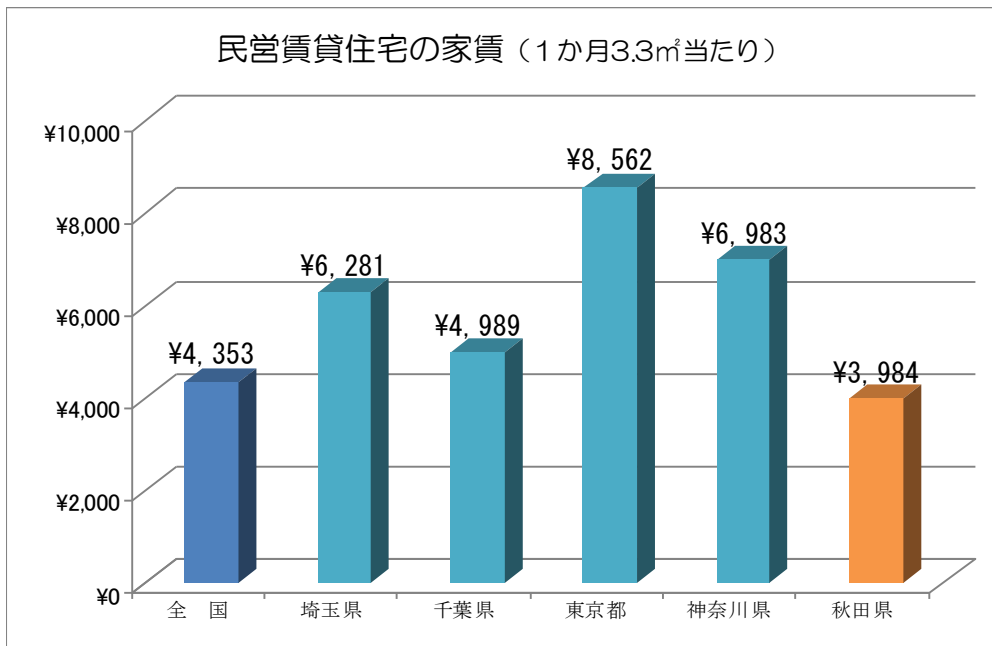
宅地価格が低いことなどからマイホームを持ちやすく、持ち家住宅率のほか、一戸建率、住宅所有率は全国でもトップクラスです。



出典：「平成30年住宅・土地統計調査」(総務省統計局) から秋田県が作成

## ③賃貸住宅の家賃

賃貸住宅の家賃についても首都圏より安く、東京都の1/2以下です。安価で広い部屋に住むことができます。



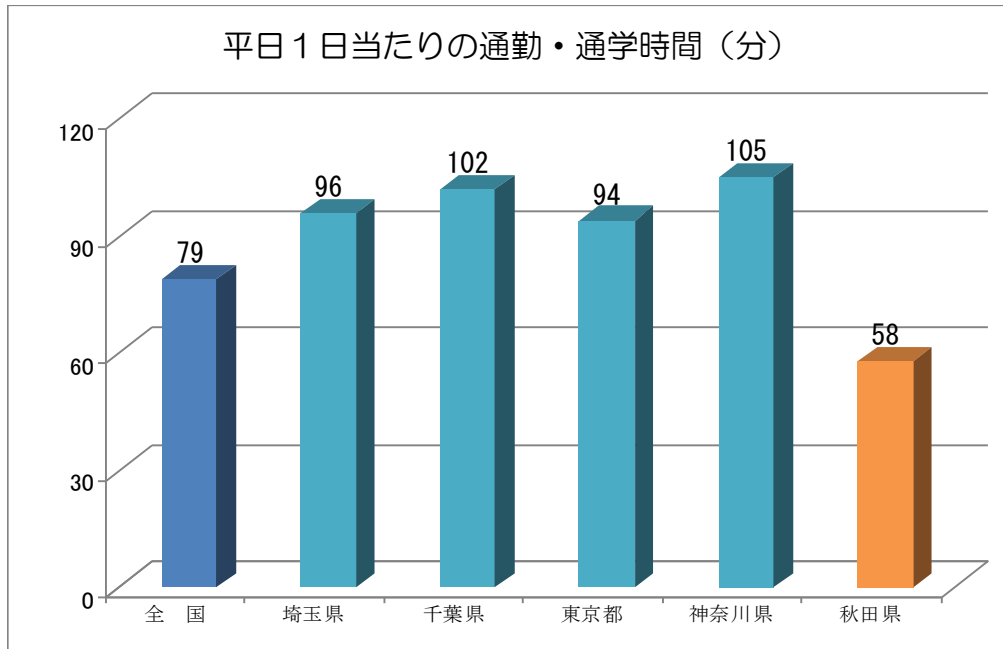
出典：「統計でみる都道府県のすがた 2019」(総務省統計局) から秋田県が作成

### 3 生活時間

毎日の通勤・通学時間は首都圏より30分以上も短く、満員電車の混雑によるストレスもありません。帰宅時間も早まるため、睡眠、食事など生理的に必要な活動（1次活動）時間が全国で1番長くなっています。特に睡眠時間は男女ともに全国1位です。

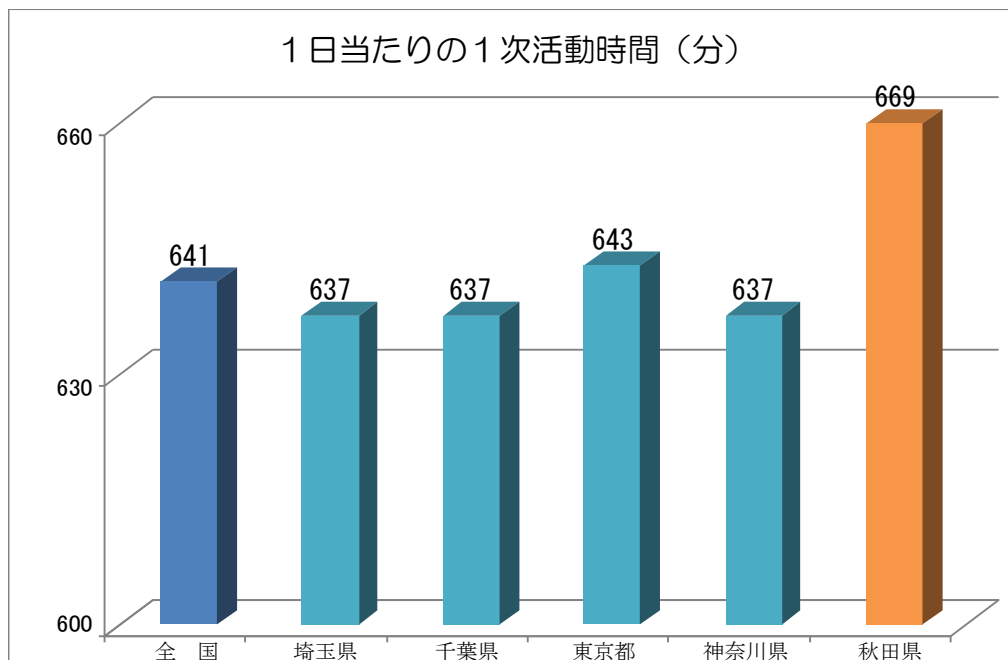
ゆっくりと仕事の疲れを癒やして、充実したライフスタイルを築くことができます。

#### ①通勤・通学時間



出典：「平成28年社会生活基本調査」（総務省統計局）から秋田県が作成

#### ②1次活動時間



出典：「平成28年社会生活基本調査」（総務省統計局）から秋田県が作成

※1次活動・・・睡眠、食事など生理的に必要な活動

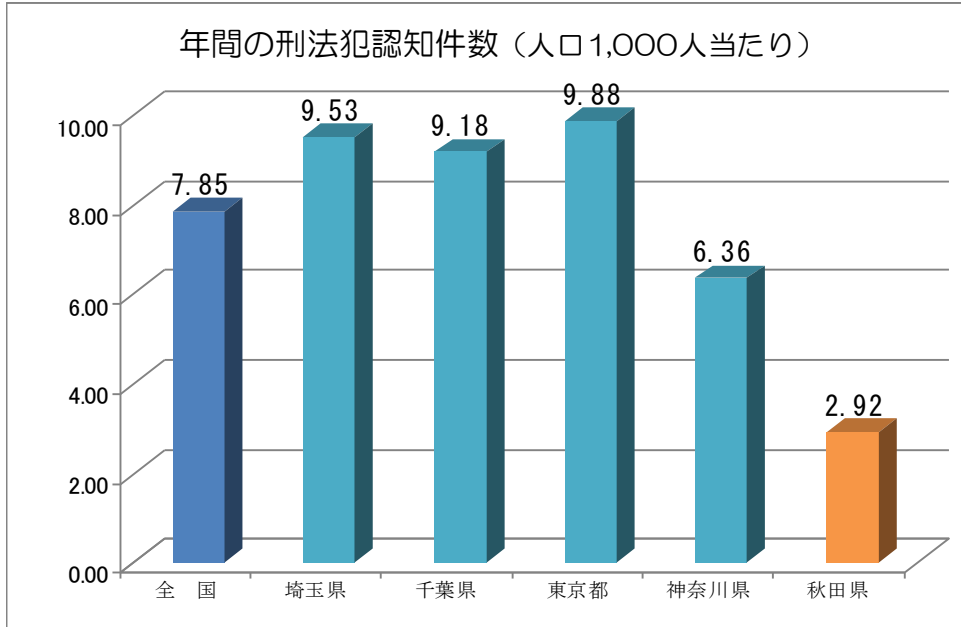
2次活動・・・仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動・・・上記以外の各人の自由時間における活動

## 4 安全・安心

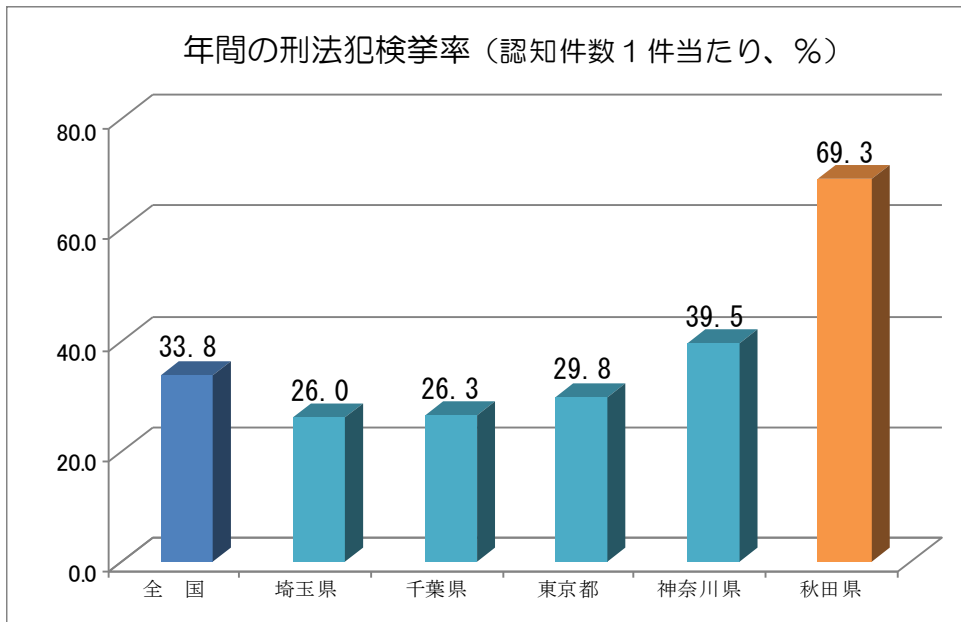
刑法犯認知件数の少なさ、検挙率の高さから、安全な暮らしが確保されていることが分かります。安全な地域社会の中、安心してのびのびと生活することができます。

### ①刑法犯認知件数



出典：「統計で見る都道府県のすがた 2019」（総務省統計局）から秋田県が作成

### ②刑法犯検挙率



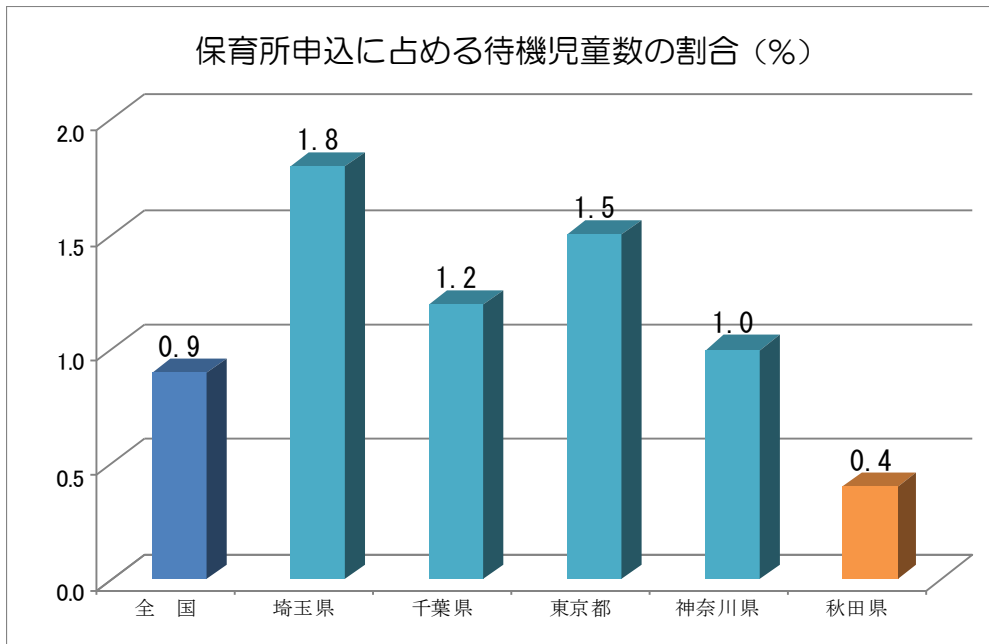
出典：「統計で見る都道府県のすがた 2019」（総務省統計局）から秋田県が作成



## 5 子育て・教育環境

### ①待機児童数

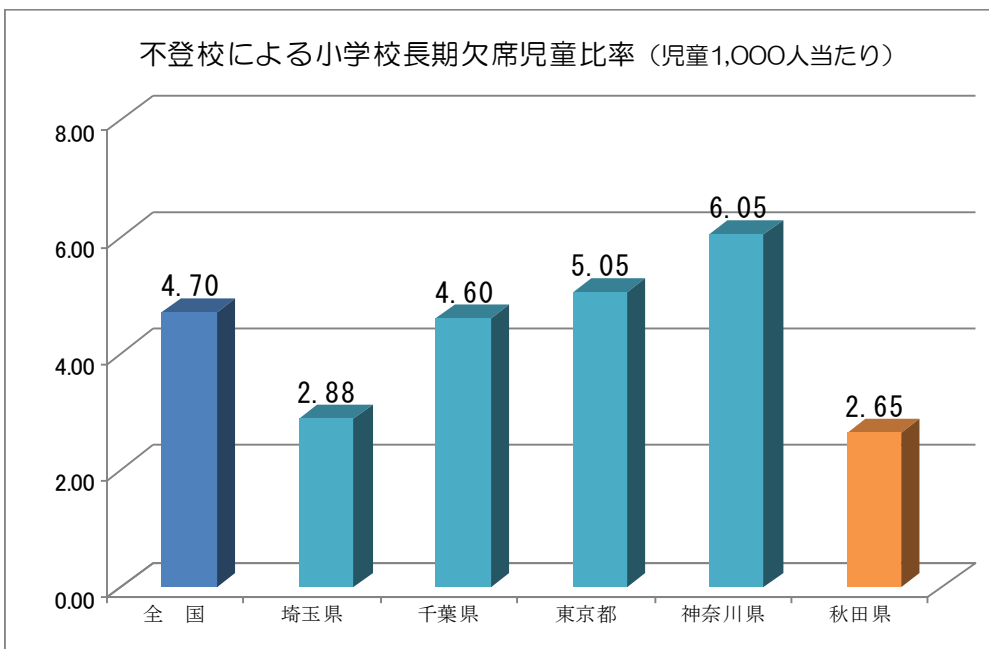
保育所申込に占める待機児童数の割合が低く、共働きでも子育てがしやすい環境となっています。



出典：「保育所等関連状況取りまとめ（平成31年4月1日現在）」（厚生労働省）から秋田県が作成

### ②小学校の不登校児童数

「病気」や「経済的理由」を除いた何かしらの理由で長期欠席した小学校の児童数は、全国で最も少なくなっています。



出典：「統計で見る都道府県のすがた 2019」（総務省統計局）から秋田県が作成

③「平成 31 年度全国学力・学習状況調査」の平均正答率

秋田の教育は探求型授業や家庭学習などの特徴があり、「全国学力・学習状況調査」では全国平均を上回るトップクラスの成績を収めています。

公立小学校

都道府県	国語正答率(%)	都道府県	算数正答率(%)
<b>秋田県</b>	<b>74</b>	石川県	72
石川県	72	<b>秋田県</b>	<b>70</b>
福井県	72	東京都	70
青森県	70	富山県	69
新潟県	68	福井県	69
全国公立平均	63.8	全国公立平均	66.6

公立中学校

都道府県	国語正答率(%)	都道府県	数学正答率(%)	都道府県	英語正答率(%)
<b>秋田県</b>	<b>78</b>	福井県	66	東京都	59
石川県	77	<b>秋田県</b>	<b>65</b>	神奈川県	59
福井県	77	富山県	65	福井県	59
富山県	76	石川県	65	石川県	58
茨城県	75	東京都	62	静岡県	58
山梨県	75	静岡県	62	兵庫県	58
岐阜県	75	愛知県	62	<b>秋田県</b>	<b>57</b>
全国公立平均	72.8	全国公立平均	59.8	全国公立平均	56.0

出典：「平成 31 年度全国学力・学習状況調査」（文部科学省）から秋田県が作成

ここでご紹介したデータ以外にも、自治体のイベント等に参加して実際にその土地で暮らしている人や移住した人の声を聞くことで、数値では表すことができない価値を見つけることができるかもしれません。

地方や秋田での暮らしが気になっている方はぜひ様々な機会をとらえて情報収集し、自分や家族にとっての理想のライフスタイルを考えてみてはいかがでしょうか。

移住関連イベント情報や市町村情報、先輩移住者の声などを掲載！

秋田県移住・定住総合ポータルサイト

“秋田暮らし”はじめの一步 (<https://www.a-iju.jp/>) はこちらから >>>

